

令和 5 年度 沖縄県産業安全衛生大会開催！

令和 5 年度沖縄県産業安全衛生大会が、10 月 13 日(金)那覇市のダブルツリー by ヒルトン那覇首里城において、沖縄県内の労働災害防止団体等(9 団体)による共催、沖縄労働局、沖縄県、那覇市及び中央労働災害防止協会の後援で開催され、302 名が参加しました。



大会長挨拶をする島袋清人大会長

労働災害で亡くなられた方々等に黙祷を捧げた後、主催者を代表して島袋清人大会長(沖縄県労働基準協会会長)の大会長挨拶で開会しました。島袋大会長は、「人手不足、高齢化、物価高騰

等、経営環境等は厳しいものがありますが、いかなる状況下でも働く人の命と健康の確保は何よりも大切なものであり、また、安全衛生対策に取り組むことは事業者の経営や人材確保・育成の観点からもプラスとなります。各事業場におかれましては、社会情勢の変化等

に対応し、安全で健康に安心して働くことが可能な職場の実現に向け、労使一体となって、安全衛生活動を一層促進されますようお願いします。」旨挨拶されました。引き続き、来賓の西川昌登沖縄労働局長から祝辞が述べられました。西川沖縄労働局長からは、「職場における安全と健康確保は、車の両輪です。作業を行う皆様が健康でなければ、事故発生のリスクが高くなります。また、働く皆様の安全と健康の確保は、人材確保が厳しい状況が続く中で、益々重要性を増し、安定的な事業運営にも不可欠なものです。本日の大会を通して、あらためて安全衛生意識の高揚を図り、自主的な安全衛生活動に取り組んでいただくよう重ねてお願い申し上げます。」旨ご挨拶をいただきました。



大会全景



祝辞を述べる西川昌登沖縄労働局長

また、公務のためご来席できなかった玉城デニー沖縄県知事からの祝電も紹介されました。



厚生労働大臣表彰受賞者

その後、厚生労働大臣表彰、沖縄労働局長表彰及び沖縄県労働基準協会会長賞の表彰式が行われ、受賞者に対し賞状が授与されました。

第 2 部では、事例発表として、安全関係ではフジテック(株)沖縄支店の支店長原田篤氏より、労災を起こさないための

施策、安全対策などの取り組んでいる活動事例の発表、健康経営では興南施設管理(株)の常務屋良一寿氏より、健康経営の取り組み、スタートしたきっかけ、継続していくために実践していることなど具体的な取り組みの発表がありました。



事例発表



特別講演

特別講演では、(一社)日本刑事技術協会の上席コンサルタント森雅人氏による『サイバー担当元刑事が教える!! 「進化・凶悪・広域化する犯罪とその対策」～新たな犯罪への「備え」できていますか?～』と題して、進化・凶悪・広域化する新たな犯罪への対策について講演があり、参加者は防犯の知識を新たにしました。

大会宣言は、陸上貨物運送事業労働災害防止協会沖縄県支部の潮平副支部長が読み上げ、「すべての働く方が安全で健康に、安心して働くことのできる職場の実現を目指す」ことの宣言が満場の拍手をもって採択されました。引き続き、指差唱和を沖縄県労働基準協会中部支部安全衛生部会の先導により、参加者全員でスローガンを読み上げました。

最後に、港湾貨物運送事業労働災害防止協会沖縄総支部儀武副総支部長の閉会挨拶をもって、成功裡に閉会しました。



参加者全員で指差唱和

